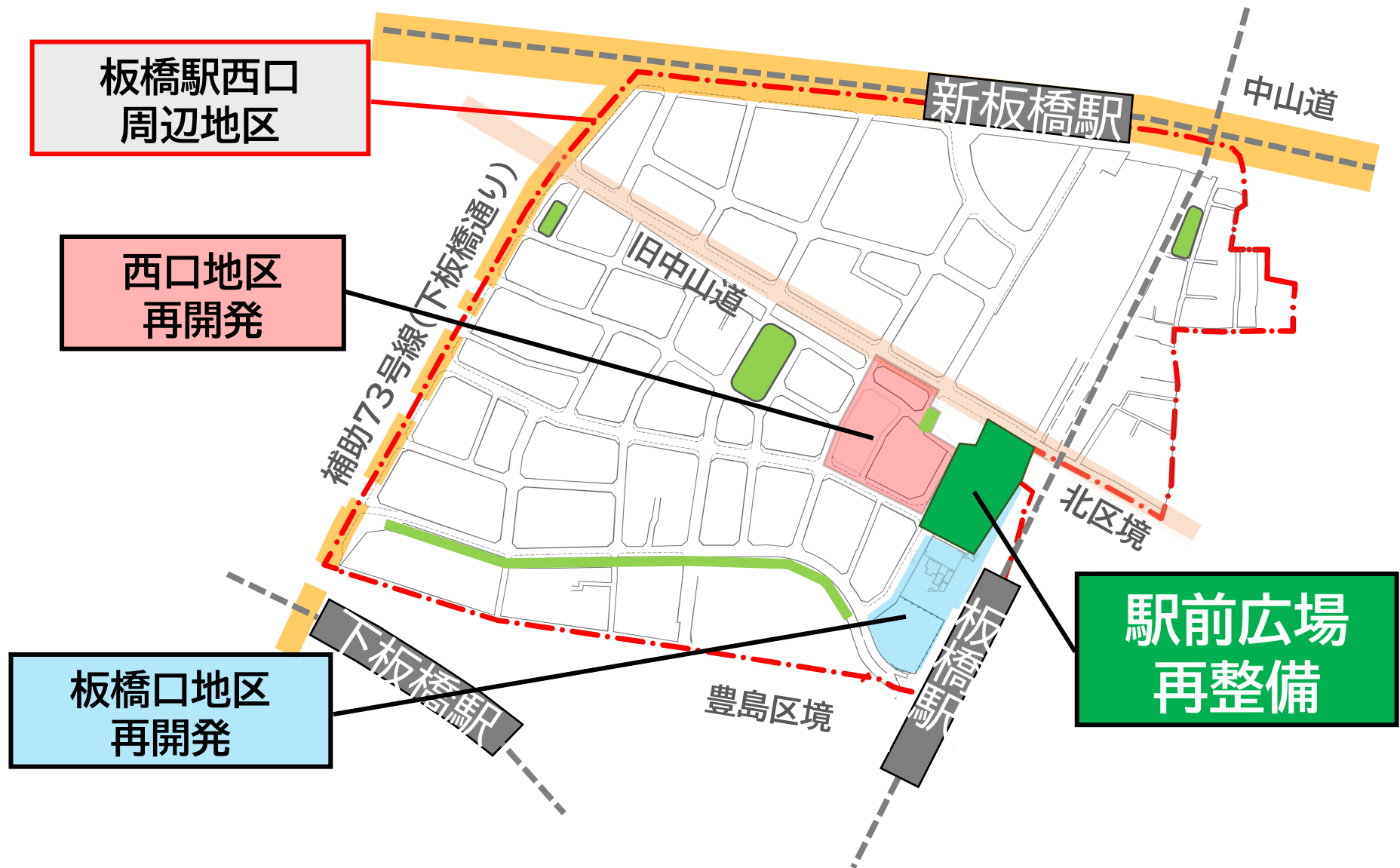


板橋駅西口駅前広場 の再整備について

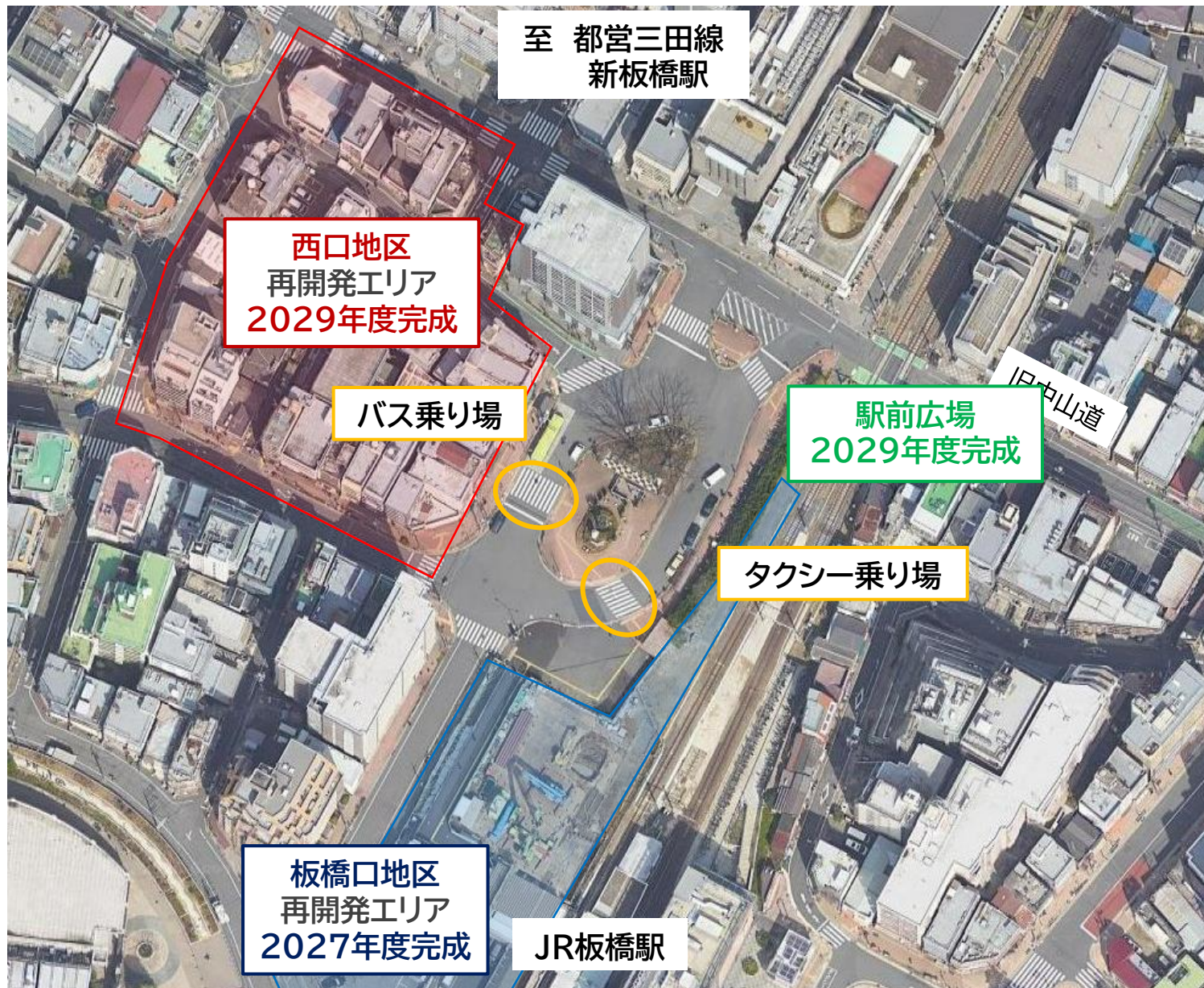
板橋区 まちづくり推進室 地区整備課

令和7年9月30日（火）
ユニバーサルデザイン協議会

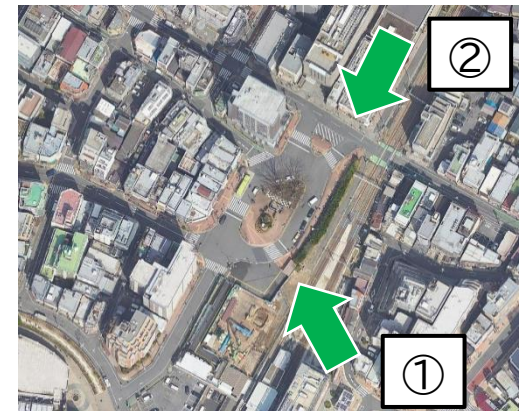
板橋駅西口駅前広場



現在の駅前広場(航空写真)



現在の駅前広場の写真



駅前広場整備計画の更新における検討の視点

視点①:交通安全上の課題解決

・板橋駅～新板橋駅の乗換え動線

ロータリー形式にし車道空間を縮小することで、従来の車と歩行者の交錯が無くなり、歩行者にとって安心・安全な歩行空間の確保する。

・バスの停留所・バスルート および 一般車両用の停車場

バス停やタクシー乗り場は駅から近いところに集約し、新たに障がい者などの送迎車両用の乗降場を設置することで、バリアフリーに考慮した配置計画としている。

・自転車の歩道進入

車両や自転車の走行がない緑豊かな広場空間は、駅前広場を利用する全ての人が安心・安全に憩える場所となる。

視点②:広場機能(にぎわい・憩い・交流)の強化

障がい者を含め全ての方に使いやすい空間を作り、人と人とのつながりやコミュニティの形成を目指す。

社会変化を踏まえた駅前広場の再整備

タクシーの利用環境の変化

バスの運行環境の変化

再開発事業の本格化

車中心から
人中心の空間へ

板橋の玄関口に
ふさわしい魅力
ある駅前広場へ

駅前広場の整備イメージ(令和7年2月時点)

板橋口地区
再開発エリア
2027年度完成

再開発の屋外空間と調和した
空間づくりをめざします

西口地区
再開発エリア
2029年度完成

JR
板橋駅

地下鉄
新板橋駅へ

車道横断がなくなり、
安全に歩行できます

埼京線

身体障がい者
乗降場

バス乗降場

歩行者動線

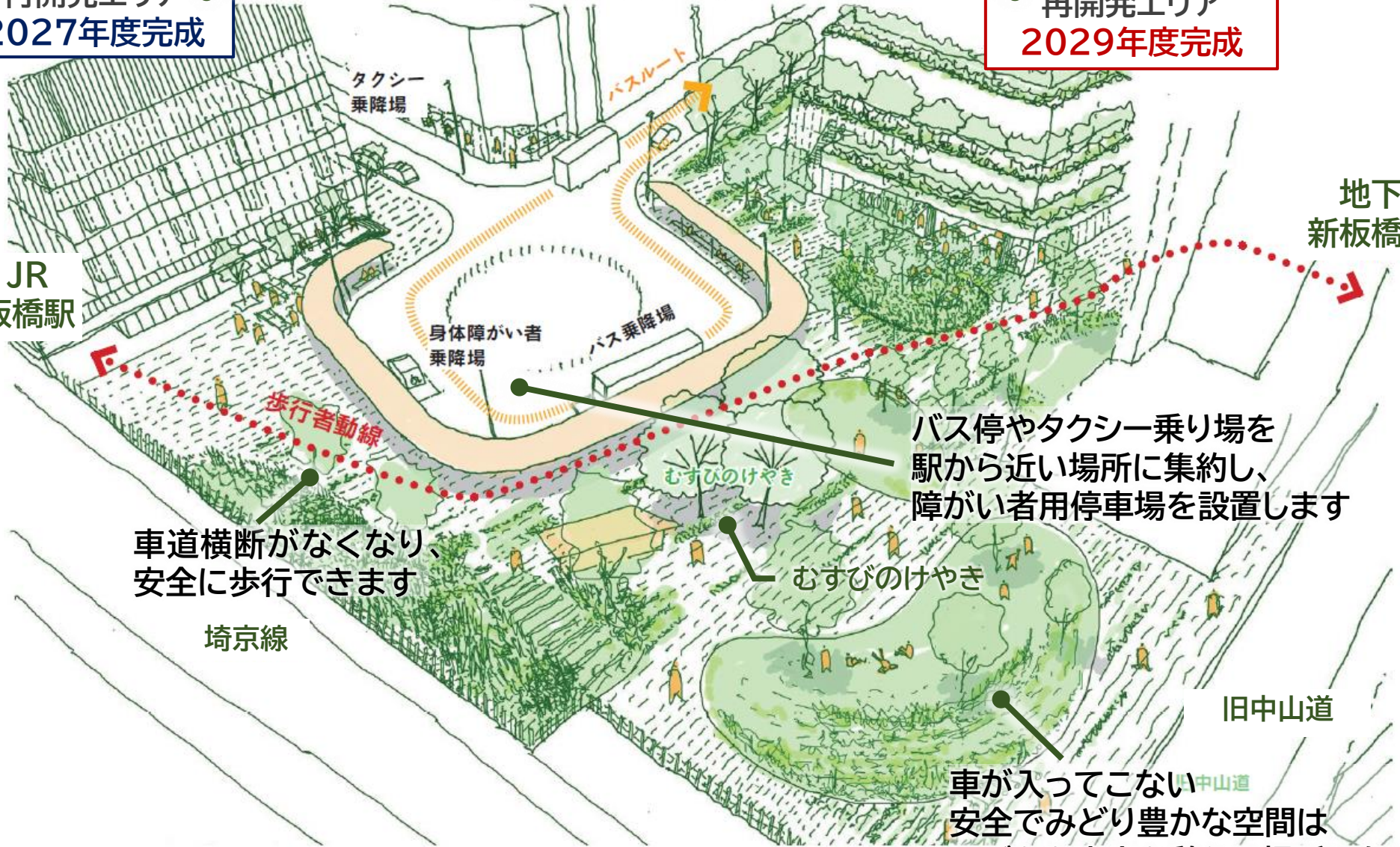
むすびのけやき

むすびのけやき

バス停やタクシー乗り場を
駅から近い場所に集約し、
障がい者用駐車場を設置します

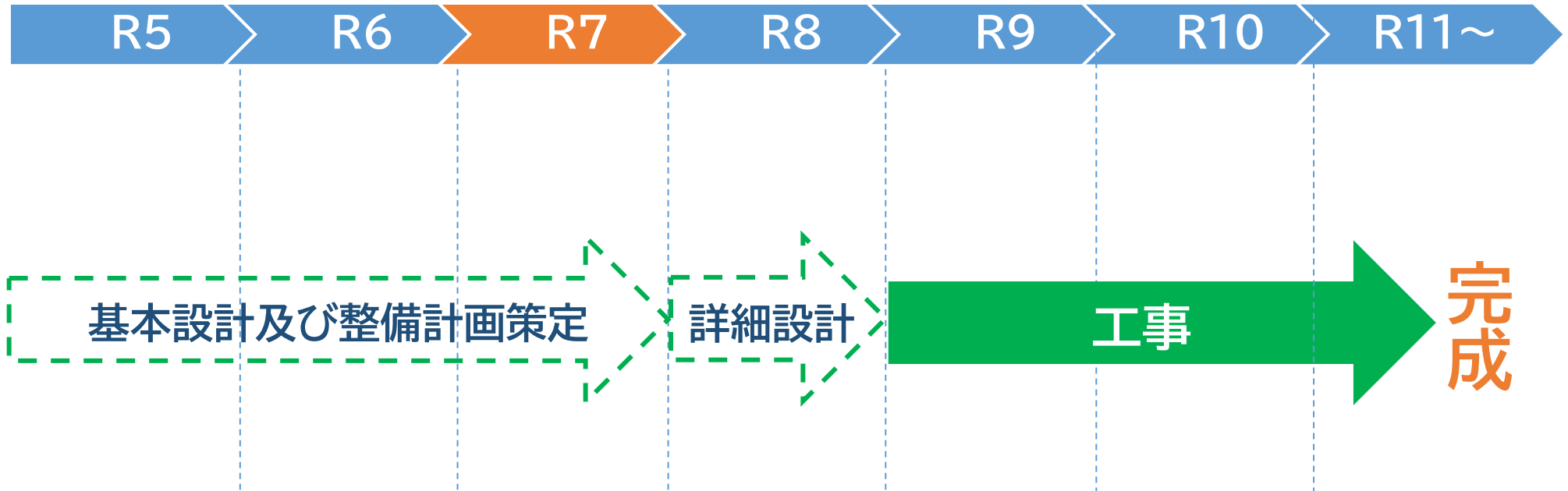
旧中山道

車が入ってこない
安全でみどり豊かな空間は
子どもも大人も憩える場所になります



駅前広場再整備のスケジュール

【年度】



- ① 設計段階で配慮すべきこと
- ② 計画・設計段階での参加のプロセス

◆道路の移動等円滑化整備ガイドライン(財団法人 国土技術センター)

- ・ 交通事業者をはじめとする周辺関係機関と十分な調整を図り、上下移動が少なく、段差などが解消され、**利用者全体の安全な移動と、その連続性、快適性を確保**する。
- ・ **すべての人の円滑な移動を支援**する、安全かつ使いやすい各種サービス施設等を用意する。
- ・ **見通しのよさ**や単純な構成、**適切な案内誘導など**でわかりやすい空間を確保する

第12章駅前広場－12-1 概説－(1)駅前広場の歩行空間の移動等円滑化に関する基本的な考え方

駅前広場においては、「交通結節機能」のほか、

①市街地拠点機能、②交流機能、③景観機能、④サービス機能、⑤防災機能

で構成される「都市の広場機能」が求められている。

本地区においても、これらの機能を考慮し、高齢者、障がい者含めた駅前広場を利用するすべての人にとって利用しやすい**「人中心」の広場空間**の創出を目指す。

参考資料② 駅間のバリアフリールート

